

米国次期大統領と中東情勢

<報告要旨>

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所
中東研究センター
研究理事 坂梨 祥

米国の取り組みが求められる中東地域の諸問題

1. 国際秩序の中心であり続けてきた米国は、中国との競争に直面しアジア・シフトを掲げる一方、深刻化する世界の分断への対応にも迫られている。そのような中、超大国として中東の安定にも関与してきた米国が、関わり続けざるを得ない中東地域の問題の筆頭は、パレスチナ問題である。2023 年 10 月 7 日のハマスによる大規模な対イスラエル奇襲攻撃は、「忘れ去られつつあった」パレスチナ問題を、再度米国と国際社会に突きつけることとなった。
2. しかし、イスラエルのネタニヤフ首相は二国家解決を却下している。イスラエル社会内部でも、「パレスチナとの共存はもはや不可能」とする見方や、「ハマスの殲滅はイスラエルの安全に不可欠」との認識が広まりつつある。
3. 米国が対処すべきいまひとつの問題はイラン核開発問題である。国際社会は依然として、トランプ大統領が 2018 年に破棄したイラン核合意 (JCPOA) に代わる、イランの核技術開発を「阻止する」ための方策を見出せていない。
4. イスラエルとサウジアラビアの国交正常化も、米国が取り組み続けている課題である。トランプ政権期に成立したイスラエルとアラブ諸国の国交正常化合意であるアブラハム合意へのサウジアラビアの参加を念頭に、バイデン政権は米・サウジ安全保障協力をめぐる協議も進めてきた。

米国の中東政策の経緯

5. 米国は伝統的に、「石油・天然ガスの円滑な輸出」と「イスラエルの安全」の確保を、中東地域における主要な政策目標と位置付けてきた。
6. トランプ政権は特にイスラエル寄りの政策を追求し、イスラエルの望み通りに JCPOA を破棄し、パレスチナ問題は棚上げに、アブラハム合意によるイスラエルとアラブ諸国の関係正常化を目指した。
7. 一方でオバマ政権はイスラエルによる入植地拡大に批判的であり、バイデン政権もイスラエルによる「パレスチナ人の人権軽視」を問題視しており、ネタニヤフ政権は第 2 期トランプ政権の発足に期待を託しているとされる。

米国次期大統領の中東政策

8. バイデン大統領による 2 期目の政権運営となる場合には、イスラエル政策には継続性が見込まれる。すなわち米国は、フーシ派など反イスラエル抵抗勢力への牽制攻撃を続ける一方、イスラエル・サウジ国交正常化にあたり無視できない二国家解決への取り組みも続けていくと考えられる。
9. イラン核開発問題に関しては、第 2 期バイデン政権は JCPOA を裏書きした国連安保理決議が 2025 年に失効する前に、イランによる核保有を確実に阻止するための何らかの合意の成立を模索する可能性が高い。イランの大統領選挙で改革派が当選し、制裁解除（すなわち対米交渉）を望む国民の声が改めて可視化されたことも、交渉を後押しする可能性がある。
10. これに対して第 2 期トランプ政権となった場合は、イスラエルへの支援が強化され、その一環としてイラン包囲網も強化されることとなろう。イラン包囲網の強化には、アブラハム合意を通じたイスラエルとサウジアラビアを含むアラブ諸国との間の関係強化が、有効な手段と見なされることとなろう。
11. 他方、トランプ政権の側近に対イラン強硬派が含まれる場合には、イランの民主化（レジーム・チェンジ）が目標として掲げられる可能性もあり、その過程で中東地域の緊張が、極めて高まる可能性もある。国際エネルギー情勢の安定という観点からも重大な影響を及ぼす問題であり、注視が必要である。

中東情勢の展望と日本への影響

12. 中東地域ではこれまでも各地で紛争や内乱が続いてきた。しかし、それにもかかわらず、中東地域からのエネルギーの安定供給は続いてきた。エネルギーの安定的な輸出は、中東の輸出国にとっても死活問題であるからである。
13. しかし、それでも供給不安の可能性は残る。イランが「米国とイスラエルへの対抗」を掲げ続けている限り、イスラエル・イラン対立も米・イラン対立も解消されずに存続し、何らかの事象などを契機に、偶発的衝突や誤算による予期せぬエスカレーションが、いつでも起こり得るからである。
14. したがって、日本としては中東地域の安定のための最大限の外交努力や働きかけを引き続き実施しつつ、同時に緊急事態の発生に備えた戦略的な対応策や行動手順の策定、国際協調による市場安定化への働きかけを続けることが不可欠となる。
15. また、供給源多様化の原則に立ち返り、脱ロシアの結果として中東原油依存度 95%という現状を踏まえ、一次エネルギー全体における中東依存度の低減をさらに進めつつ、上述の緊急時対応能力の強化・整備を進めることが必要となろう。

以上